

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践とあるが、スピーチロックに関しては日々のケアの中で細心の注意をもっと払っていかなければならない。	日々の流れの中でややもすると無意識に発してしまう言葉や声の大きさ等、気づいたその場で職員同士が互いに声を掛け合い、注意をしようよう実践する。	職員会議の中で、繰り返し研修等を行い、統一した知識、意識を育み徹底する。	6ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた対応で、入居時に家族に看取り等の説明や意向は確認できているが、開所時から3年が過ぎようとしているがその後、再確認をしていない。	入居の時間経過に伴い、身体的変化がなくても家族にその都度、意思確認は必要と考える。	カンファレンスやモニタリングを活用し、現状行っている家族への説明等を定期的開催する機会を設ける。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。